

指定管理者による公の施設の
管理に関する評価について

(意見具申)

平成30年12月26日

草津市指定管理者選定評価委員会

目次

総括	1
1 評価対象施設	2
2 審議日程および経過	2
3 草津市指定管理者選定評価委員会委員名簿	3
4 評価方法等	3
5 個別施設評価	
●草津市立市民交流プラザ	5
●草津市立草津アマカホール／草津市立草津クレアホール	6
●草津川跡地公園 区間2・区間5	8
●草津市児童育成クラブ	10
●草津市立地域まちづくりセンター	15

指定管理者による公の施設の管理に関する評価について

総括

公の施設の管理に関する評価については、これまで「指定管理者による自己評価」および「担当課によるモニタリング」という形で行われており、当委員会のような外部委員で構成される第三者機関による評価は今年度が初めての試みであったが、施設管理の現状や課題および施設の今後のあり方等についてより深い議論ができ、次年度の選定に向けても大いに参考となった。

今回、後述する評価方法等に基づき、32施設の評価を行ったが、いずれの指定管理者も仕様書に定める業務については、適切に実施されており、独自事業に取り組む施設もあり、利用者アンケートの結果も良好であった。また、現地視察の対象となった施設については、職員の応対も丁寧であり、概ね適切に管理されているといえる。後述する個別施設評価を参考に、今後も適正な管理運営を継続されるとともに、市民サービスの向上に努められたい。

なお、評価における今後の改善点として、アンケート様式およびその集計様式が施設ごとに異なっているため、施設間の比較が容易にできるよう、草津市児童育成クラブや草津市立地域まちづくりセンター等同種の複数の施設については、施設独自の質問項目は残しつつも、全施設に共通する基本的な質問や集計様式の統一をお願いしたい。

草津市指定管理者選定評価委員会
委員長 市木 重夫

1 評価対象施設

指定期間3年以上の施設のうち、平成31年度に選定を行う以下の施設

- (1) 草津市立市民交流プラザ
- (2) 草津市立草津アマカホール／草津市立草津クレアホール
- (3) 草津川跡地公園（区間2・区間5）
- (4) 草津市児童育成クラブ（全14施設）
- (5) 草津市立地域まちづくりセンター（13施設※）

※常盤まちづくりセンター除く。（平成30年度から指定管理開始の為）

2 審議日程および経過

第1回 平成30年9月26日（水） 午後1時30分から午後5時まで

主な審議内容：評価方法等の確認、審査資料等配布、
現地視察（草津アマカホール）

第2回 平成30年10月4日（木） 午前9時から午後0時まで

主な審議内容：現地視察（志津南まちづくりセンター、「のびっ子」玉川、
「のびっ子」矢倉）

第3回 平成30年10月12日（金） 午前9時から午後0時まで

主な審議内容：現地視察（渋川まちづくりセンター、草津川跡地公園（区
間5）、市民交流プラザ）

第4回 平成30年11月29日（木） 午前9時から午前11時まで

主な審議内容：具申書案の確認

3 草津市指定管理者選定評価委員会委員名簿

氏名	所属
◎市木 重夫	弁護士
○北村 和生	立命館大学 法科大学院教授
峯俊 智穂	立命館大学 経済学部准教授
森本 美絵	京都橘大学 発達教育学部教授
山本 常秋	元公益財団法人 滋賀県文化振興事業団常務理事
梅村 進	草津市まちづくり協議会連合会
石堂 美恵子	公募市民
松田 博	公募市民

◎＝委員長 ○＝副委員長

任期：平成30年9月26日から平成32年9月25日まで（2年間）

4 評価方法等

書類（指定管理者および市作成の事業評価書、事業実績報告書、施設利用者アンケート等）および現地視察を基に各委員が以下の評価項目ごとに評価した。

- (1) 指定管理者による施設管理の有効性 【有効性】
 - ・施設の設置目的に沿った事業が実施され、その事業は質の高いものであったか。
 - ・利用者アンケートの結果、満足が得られているか。
- (2) 施設の管理・運営状況 【適正・効率性】
 - ・利用者数、稼働率、事業収支の状況について。
- (3) 公募・非公募、利用料金制の採用の効果
 - ・公募の余地はあるか。（非公募の場合）
 - ・使用料金制の場合・・・利用料金制度導入の余地はあるか。
 - ・利用料金制の場合・・・利用料金制度の導入効果があるか。

(4) 今後の施設管理の方向性

- ・施設の設置目的を効果的に達成するために、指定管理者制度活用の継続の是非も含めて評価

※評価制度の詳細については、別紙「指定管理者選定評価委員会の評価について」のとおり。

5 個別施設評価

●草津市立市民交流プラザ(指定管理者:ビバ・ビューテックグループ)

①指定管理者による施設管理の有効性
<p>新たに多目的ホールの展示、ロビーに幼児の遊びスペースを設置するなど集客の努力をしている。(幼児の遊びスペースについては事務室から見守れる位置に配置し、安全性の配慮もある。)また、指定管理者が経営するプールやフィットネス・アスレチックジムの社員を健康講座(自主事業)の講師として活用するなどの連動が図られており、直営時と比べて職員応対の向上に関する評価の声もある。</p> <p>ビブリオバトル(※)の実施については、来館者の評価も高く、全国大賞をとるなど、質の高い事業を実施しているが、認知度はまだ低いようである。一層の広報とともに教育活動の一環と位置付ける等、小中高校や図書館等との連携も期待する。</p> <p>なお、当施設の設置目的である「市内の勤労者相互の交流促進」を鑑みると、趣味等の利用に加え、より多くの企業の利用が増えることが重要であると考えため、立地場所の利便性や施設の多機能性をPRした広報等を検討されたい。</p>
②施設の管理・運営状況
<p>利用者数・稼働率とも適切である。託児室は、他の部屋を借りると無料で利用できるなどして、子育て家庭が自主教室等に参加しやすくしているが、調理実習室の稼働率が低いため、調理実習室を活用した自主事業の実施などを検討されたい。</p> <p>施設の特徴として、近くに南草津駅やスーパー、銀行の支店、市営駐車場があり、利便性が高いこと、また、指定管理者が経営するプールやフィットネス・アスレチックジムの利用者については、体育やヨガ等の利用が期待できることから、さらなる利用者増の取り組みについて期待する。</p> <p>事業収支については、事業収入が前年度および計画より増となっており、支出についても適切である。</p>
③公募・非公募、利用料金制の採用の効果
<p>適正な管理運営状況や事業の実施状況から、施設の設置目的を果たしているとみられ、現行の公募、利用料金制の維持でよいと考える。特に利用料金制については、管理者が、収益を上げる努力をしており効果があったと考える。</p>
④今後の施設管理の方向性
<p>民間活力の導入によって集客の工夫がされているとともに、質の高い事業を介して利用者相互の交流が図られていることから、より魅力的な活動による市民交流の一層の促進が期待できる、指定管理者制度活用の継続が妥当である。</p> <p>今後、指定管理者による、さらなる効果的・効率的な管理・運営を実現させるため、長期の指定期間の設定を検討されたい。</p>

※ビブリオバトル・・・参加者同士で本を紹介し合い、最も読みたいと思った本を投票で決定する催し。

●草津市立草津アマカホール／草津市立草津クリアホール

(指定管理者:公益財団法人 草津市コミュニティ事業団)

草津アマカホール

①指定管理者による施設管理の有効性

大学や文化団体と連携した、次世代育成の独自プログラムなどの斬新な取り組みや、新たなホール利用につなげるため、「リハーサル事業」としてホールでのピアノ練習ができる機会を提供するなど、自主事業と連動しながら、利用者層拡大に努めている。

また、草津アートセンターを立ち上げ、舞台芸術制作の専門家を配置し、貸館におけるホール利用に関するアドバイスから、アウトリーチ（出前）やコーディネートなど、市民の文化芸術活動のサポートを行っている。

利用者も大人から子どもまで各種団体等の幅広い利用があり評価できる。ジャズなどのプログラムを工夫し、子育て世代の親子が楽しめるようなものが提供できるとより良いと考える。

②施設の管理・運営状況

利用率は前年度より落ちているが、舞台で使用するバレエマットの設置や、研修室にホールでの進捗状況をリアルタイムで確認できるモニターの設置（控え室としての機能を付加）、リハーサル室の壁面鏡を活用して部屋の活用用途を広げるなど、利用者の立場から個々の設備の用途を広げたり、使い勝手を考え努力している。

利用率が低い5月、1月は、料金の割引サービスなど、新たな活用の工夫を検討されたい。エントランス周辺のバリアフリー対応について、ハード面は市の責務であろうが、ソフト面での改善がもっと図られるべきであろう。

収支全般としては、2館ともに収入増および支出削減に努めている。

草津クリアホール

①指定管理者による施設管理の有効性

自主事業において、オペレッタ・ミュージカル・ダンス公演、企画展の実施など、ホール・展示ホールの新たな可能性を追求する事業や、利用者の見本となるような事業を積極的に実施することにより、新たな利用者層拡大につなげている。内容や実施形態も多様であり、劇場法から見る文化ホールの役割を果たしている。

また、市民と創るフェスティバルの実施等により、県営時よりも市民が身近・気軽に関わることができるような取り組みも行っている。アマカホールと同様に大人から子どもまで幅広く利用がされ、草津アートセンターの活動も活発であり、職員応対に対する満足度評価も高い。

②施設の管理・運営状況

リハーサル室と練習室1の利用率が、2年連続で上昇している。練習室については移管時に防音工事を施した効果が利用者の増加という形で表れているようであり、さらなるPRに努められたい。他の設備利用についても稼働率が前年度を上回っているが、施設利用者数は前年度より若干少ないことから、今年度新たに貸館が開始された活動室の利用方法について検討し、利用者の拡大に努められたい。

草津アマカホール・草津クレアホール共通

③公募・非公募、利用料金制の採用の効果

適正な管理運営状況や多様な事業の良好な実施状況から、施設の設置目的を果たしており、募集方法については、特別な課題等が生じなければ、現行通り非公募でよいと考える。

ただし、非公募の理由とされる、市の文化政策との適合性について、その機能が果たされてきたのかを、しっかりと検証する必要がある、機能していない場合には公募制の採用も検討するべきである。

なお、利用料金制については、多様な運営の工夫等により、利点が活かされているので、引き続き導入すべきと考える。

④今後の施設管理の方向性

2館を一体管理することにより、各ホールの規模や特性に応じた事業の実施や利用の提供ができ、効率的で効果的な施設運営につながっている。

このように、指定管理者制度は有効に活用されているが、こうした文化施設が様々な世代の市民にとって、さらに身近に感じられるよう、利用者ニーズ（建物など環境も含めて）が指定管理者を介して市に届き、より迅速に市民にフィードバックされる仕組みがあるとよい。

なお、非公募により公共財としての位置付けを高めるのであれば、指定管理者に経営努力を求めることに加え、よりよい公共財となるよう、トイレの洋式化改修等、施設機能の向上を求めたい。また、託児サービスについては主催者任せでなく、施設としてもサービスを提供もしくは紹介するなどし、子育て中の親や子どもたちが、文化・芸術に触れられるよう、充実を図られることを期待する。

今後、指定管理者による、さらなる効果的・効率的な管理・運営を実現させるため、長期の指定期間の設定を検討されたい。

●草津川跡地公園 区間2・区間5(指定管理者:草津川跡地公園パートナーズ)

草津川跡地公園 区間2

①指定管理者による施設管理の有効性

市民活動部会や緑の管理部会を設置し、市民との活動や交流を行っている。自主事業については、当初は大規模イベントを予定していたものの、公園の認知度を高めることが重要であるとの認識のもと、市民が気軽に参加でき、継続的に訪れていただけるような小規模なイベントを実施するように計画の変更を行い、ガーデニング、よし笛づくりや草津川の石を使ったキッズイベント、マルシェ等、地域に根差したイベントを地域と連携して実施された。

アンケートでは調査項目5つの満足度の平均が5点満点中、4.5点と非常に高い結果であった。施設の利用目的に子どもの遊び(未就学児)が最も多いこともあり、安全、清潔さの評価が高いことは大いに評価できる。7月、8月に来場者数の落ちこみがみられるため、分析をされたい。

②施設の管理・運営状況

来園者数については、初年度であり、数値の是非の判断は難しいが、7月、8月に来場者数の落ちこみがみられるものの、年間で11万人を超えた。教養室の稼働率が低い点が課題である。

事業収支について、自主事業収入については区間5と同様に予算よりも低額となったが、事業の計画変更によるものであり、支出については利用者当たり自治体負担コストが計画より抑えられており、評価できる。

施設の不具合は毎日の日常点検により、早期に発見し、必要な修繕を迅速に行っており、適切に対応できている。

草津川跡地公園 区間5

①指定管理者による施設管理の有効性

区間2と同様、市民活動部会や緑の管理部会を設置し、市民と活動・交流を図るとともに地域に根差したイベントを地域と連携して実施された。また、草津まちづくり株式会社と毎月1回会議を行い、公園の賑わい創出等について協議を行っており、草津まちイルミ開催時には場所の提供を行っている。アンケートの満足度も同様に平均4.5点と非常に高い結果であった。

ガーデンエリアは美しく、植栽それぞれが目を楽しませてくれ、手入れも行き届いており、たいへん気持ちが良い。

②施設の管理・運営状況

来園者数については、初年度であり、数値の是非の判断は難しいが、7月、8月に来場者数の落ちこみがみられるものの、年間で60万人を超えた。区間2と同様に教養室の稼働率が低い点が課題である。(事業収支および修繕対応については、区間2と同様。)

なお、樹木が若いこともあり、木陰がないため、照り返しが厳しい夏場は緑の遮光カーテンなどの工夫で暑さ対策をするとよい。ペットの糞尿対策について、芝のある場所には、ペットを入らせないように、立て看板設置など徹底すべきである。

草津川跡地公園 区間2・区間5共通

③公募・非公募、利用料金制の採用の効果

現指定管理者は様々な自主事業を実施するとともに、アンケート等による利用者目線での施設管理に取り組んでおり、公募による選定の効果が表れている。

利用料金制については、効果として効果的・効率的な管理運営が図られるという利点があるが、当施設は平成29年度が開設初年度であり、樹木の管理や施設の運営の安定に一定の経過を要すると思われることから、導入にあたっては、今後の施設の管理運営状況を見ながら慎重に検討されたい。

④今後の施設管理の方向性

様々な自主事業に取り組むとともに、アンケートを参考に利用者目線からの改善等に取り組むなど、良好で適正な管理を行っていることから、指定管理者制度の導入は適切である。なお、ハード面では、売店や自動販売機の増設、また、暑さや雨の日対策のための屋根付きベンチの設置について検討されたい。

●草津市児童育成クラブ

「のびっ子」笠縫(指定管理者:企業組合 労協センター事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性
クラブ活動、空手教室、護身術など独自事業を積極的に取り入れ、子どもの興味・関心を広げる機会を設けている。手作りおやつ等、食を通して温かみを感じられる家庭的な活動も定期的にある。保護者と子どもの様子の情報共有、保護者からの質問への対応、保育内容について意向を伝えられる場があり、よく対応されているようだ。保護者会活動、保護者参加行事の内容については、満足が5割強となっているので、理由について検証されたい。
②施設の管理・運営状況
児童数・事業収支は妥当であり、概ね適正な管理運営ができています。保育材料費は、児童書など適切な物品が購入されている。

「のびっ子」矢倉(指定管理者:社会福祉法人 草津保育園)

①指定管理者による施設管理の有効性
複数担当制をとることで、子どもの様子を保護者と指導員が情報共有できる体制となっている。事業としてはクラブ活動と称して多様な体験を提供している。また、おやつの間を早くして夕食に配慮したり、宿題の時間を確保するなどの工夫がみられるが保護者会や親子行事に参加されていない方が多いと思われるので参加いただくような工夫も検討されたい。
②施設の管理・運営状況
市以外の主催の職員研修にも参加し、指導員の質の向上に努めている。利用児童数は、適正である。事業収支はマイナスとなっており、年間保育計画に基づいて、適切に予算執行をするため、要因について検証されたい。

「のびっ子」玉川(指定管理者:社会福祉法人 あさひ保育園)

①指定管理者による施設管理の有効性
同一法人の「のびっ子」南笠東との連携は指定管理者による管理としては適切な点であろう。子どもの様子を保護者と指導員が情報共有できる雰囲気があり、保護者の質問への対応もよく、安心できる場になっている。事業内容としても集中力や異年齢交流を図るため、けん玉に力を入れたり、宿題をさせるだけでなく、指導もしており、丁寧である。
②施設の管理・運営状況
事業収支は妥当であるものの、利用者は減少している。同地域で開設されている民間施設との競合があるのかもしれないが、保育所による運営の長所が見えにくいので積極的にアピールしていくことが必要である。また、怪我の報告率が高いとの指摘が見られるため、再発防止に努められたい。

「のびっ子」笠縫東(指定管理者:社会福祉法人 良友会)

①指定管理者による施設管理の有効性
小学校の敷地を利用して外遊びや百人一首大会など、伝承遊び等の機会を増やすなど工夫されている。また、保護者と保育内容を概ね情報共有されており、質問等への応対もされている。それらが保護者の安心につながっているようである。
②施設の管理・運営状況
利用者数、事業収支は適正である。自主事業には意欲的に取り組んでいるが、自己評価書やアンケート結果集計等で書類の誤記載が何点が見受けられるので、適切な事務執行に努められたい。

「のびっ子」志津(指定管理者:社会福祉法人 志津保育園)

①指定管理者による施設管理の有効性
指導員と保護者との子どもの様子の情報共有、質問に対する応対は良好である。適宜、手作りおやつ等を取り入れ、家庭の補完的役割を取り入れているが、宿題をする時間を確保し、家庭学習の習慣を身につける日課になっていないようである。また、児童数が多いので雨天時の活動として、図書や知育ゲーム等の十分な用意が必要であることから、導入について検討されたい。
②施設の管理・運営状況
児童数が多く保育はたいへんであると予想されるが、学齢の異なる40人程度の集団を編成し、育ち合いの機会を作っている。経費については保育教材料費が前年度実績および計画との差が見受けられること、収支が少なからずマイナスであることから要因について検証されたい。

「のびっ子」草津(指定管理者:企業組合 労協センター事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性
保護者と職員の情報共有、保護者からの質問に迅速・丁寧な回答ができており、安心できる居場所となっている。保護者と職員がともに子どもを育てる(保育する)連携姿勢がみられ、信頼関係が形成されているようだ。 各種の行事、手作りおやつ等の活動は充実しているようだが、外遊びの時間が30分と短いことから、外遊び等の身体を動かす遊びの時間の確保を望む。
②施設の管理・運営状況
入会児童数は、定員の1.08倍であり、妥当な入会児童数である。事業収支は良好であるが、保育材料費、活動費は、予算の50%~60%の支出となっており、事務用品、通信運搬費などは、予算を上回っている。子どもの活動に直結する項目については、年間行事計画等に基づいた予算執行となるように年間計画の策定に努められたい。

「のびっ子」常盤(指定管理者:企業組合 労協センター事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性
季節の行事、ふるさと探検、買い物体験、料理教室など生活を豊かにする、生活スキルを身につけられるような活動がある。子どもの様子を指導者と保護者が情報共有できており、安心できる場・居場所になっている。自己評価にもあるが保護者や地域と連携した行事が、施設の自主活動にまで発展していくような取り組みを検討されたい。
②施設の管理・運営状況
概ね適正な管理運営ができていますが、児童数が定員の86%と少ないことや事故発生率が高いという課題があることから、これらの点の検証が望まれる。

「のびっ子」山田(指定管理者:社会福祉法人 すぎのこ保育園)

①指定管理者による施設管理の有効性
遊びと学習の時間が適切に設けられ、学齢児の生活リズムを身につけさせている。静の時間と動の時間のメリハリが感じられる。子どもの様子を保護者と情報共有し、保護者からの質問への対応の評価は非常に高い。また、ボランティアによる将棋指導、支援員によるアートフラワー、生け花等独自事業が多く、子どもの関心を広げる機会になっている。保護者会等の親子活動を親の要望で廃止し、働く保護者支援を徹底しているが、保育の質を親自ら確認するうえでも、年に1度くらいは、親子活動があってもよいと考える。
②施設の管理・運営状況
定員の1.26倍を超える多くの児童を受け入れ、働く親を支援している。保育材料費、備品購入費、活動費等、購入されている物品等は適切なものであるが、年度計画と実績との差が大きいため要因について検証されたい。手作りおやつを提供は、家庭の温もりを感じさせ評価できる。

「のびっ子」南笠東(指定管理者:社会福祉法人 あさひ保育園)

①指定管理者による施設管理の有効性
「のびっ子」玉川と同様に、両者の連携、交流やけん玉に力を入れている。また、保護者と子どもの様子について情報共有しており、保護者からの質問への対応もよい。それが安心できる場という評価につながっているようだ。課題は地域交流の取り組みが少ないことであるため、実施について検討されたい。
②施設の管理・運営状況
利用者数は適正であり、事業収支等も概ね適正である。保育材料費については、平成29年度は、ほとんど使用されていないが、学齢に応じ、子どもの関心が広がるよう、制作、読書(絵本も含むが児童書)活動などにかかる経費の支出についても検討されたい。

「のびっ子」志津南(指定管理者:社会福祉法人 幸栄会)

①指定管理者による施設管理の有効性
<p>指導員と保護者は子どもの様子について情報共有しており、保護者の質問への対応が良好であり、子どもの生活の場として安心できる場になっているようである。低学年の児童の利用が多いこともあり、宿題の習慣が身に着くように工夫している。</p> <p>また、長時間保育で不足しがちな、買い物体験、お金について学ぶ教室など、社会的スキルを学ぶ活動が取り入れられている。本読みにも力をいれておられるので、各自に図書を持参させる等、家庭でも読書・図書に関心をもってもらおうよう、工夫されたい。</p>
②施設の管理・運営状況
<p>定員の1.24倍であるが、一人の怪我もなく安全に保育している。なお、研修費の予算が少額である。保育の評価は非常に高いが、利用者が増加していることもあり、指導員の質の維持・向上のため、一定額の研修費の予算化について検討されたい。</p>

「のびっ子」渋川(指定管理者:社会福祉法人 良友会)

①指定管理者による施設管理の有効性
<p>笠縫東児童センター、渋川あゆみこども園など他施設との交流をはじめ、子どもたちと地域をつなぐ活動を実施している。子どもの様子についてお迎え時やお便りを通じて情報交換ができており、保護者との連携、質問等への対応について高い評価(90%強)となっている。施設の立地環境もあるが、外遊びを求める声もある。小学校の運動場を大いに利用し、異年齢保育を生かした運動遊びを検討されたい。</p>
②施設の管理・運営状況
<p>市以外の主催の職員研修にも参加し、指導員の質向上に努めている。利用者数が前年度より減少、定員も満たされていないので、利用者の拡大に努められたい。保育材料費は絵本代であるが、学齢時であるので、絵本だけでなく、児童書の購入についても検討されたい。</p>

「のびっ子」大路(指定管理者:企業組合 労協センター事業団)

①指定管理者による施設管理の有効性
<p>保護者に対して、行事写真の掲示、月1回の通信など、活動を可視化するなど工夫されている。また、宿題等をする学習時間が1時間強確保され、親が安心できる場所・居場所になっている。ただし、DVD鑑賞については保育とのバランスを考え、過度な回数とならないよう検討されたい。</p>
②施設の管理・運営状況
<p>定員と入会児童数が同数で稼働率も適正である。安定して運営されている。活動費に占める遠足の費用が占める割合が60%と高い。施設の特性上、必要な経費であるものの、保育全体のバランスに配慮いただきながら、予算執行に努められたい。</p>

「のびっ子」老上(指定管理者:特定非営利活動法人 ひかりの子)

①指定管理者による施設管理の有効性
<p>地域との交流を介して子どもを地域につないでいる。お迎え時に、指導者と保護者が子どもの様子を情報共有する他に、親子活動・参観など直接子どもとの時間を共有できる機会を多く設けており、指導者と保護者の信頼関係が醸成される仕組みがある。</p> <p>一方で、アンケートでは、保護者会の不参加に対する「ペナルティ」についての記載が多く、親子行事に対する保護者負担が大きいようだ。各家庭様々な事情があることも配慮し、保護者会の運営のあり方を再考することも必要と思われる。</p>
②施設の管理・運営状況
<p>定員を超えた児童を受け入れ、働く保護者を支援している。また、職員研修において、市主催の研修以外にも参加し、質の向上に努めている。課題としては、怪我の発生率が高いこと、経費に関して、事業収支がマイナスであることから経費の見直しを検討されたい。</p>

「のびっ子」老上西(指定管理者:特定非営利活動法人 ひかりの子)

①指定管理者による施設管理の有効性
<p>老上と同様、大勢の子どもたちを対象として、様々な体験を提供しているが、保護者会活動を負担に感じている保護者もいる。その他、アンケートで安全面での不安に関する意見があるが、保護者が安心できる対応をお願いしたい。</p>
②施設の管理・運営状況
<p>定員を超える130人もの児童を受け入れ、働く保護者を支援している。また、職員研修において、市主催の研修以外にも参加し、質の向上に努めている。課題としては、怪我の発生率が高いことが挙げられるので再発防止に努められたい。</p>

各「のびっ子」共通

③公募・非公募、利用料金制の採用の効果
<p>各指定管理者が、子どもの健全育成を図るために、自主的活動を取り入れるなど、様々な努力をしていることが、アンケート結果や事業報告書からみることができた。公募による目的が果たされていると考える。また、利用料金制については導入することで保護者の就労支援が優先され、児童へのサービスや安全性の低下が懸念されるため、現行どおり、使用料金制が適切であると考えます。</p>
④今後の施設管理の方向性
<p>指定管理者による柔軟な発想による独自事業も多く見られることから、指定管理者制度導入の効果はあると言える。しかしながら、平成29年度報告で収支がマイナスとなっている施設が複数施設あることから、今後の安定的な制度運用を図るうえで注視する必要がある。なお、安定性・継続性、質の維持・向上を図るには、指導員の資格と研修制度の一層の充実が必要である。</p>

●草津市立地域まちづくりセンター

志津まちづくりセンター(指定管理者:志津まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性
高齢者から子どもまで幅広い世代を対象者とした事業の実施により、多くの参加者を得ている。アンケートでは、職員の応対や施設管理については利用者は概ね満足しているものの、講座イベントなどの充実を望む声が多いので、一層の事業の充実を望む。
②施設の管理・運営状況
アンケートでは、利用者の年齢は60代に偏ってはいるが、利用者数、稼働率とも前年度を上回っており、利用実績は安定している。事業収支も良好である。他の施設に比べ調理室、図書室が広いことから、幅広い年代の利用者を得るため、これらの部屋の活用について一層の工夫を望む。

志津南まちづくりセンター(指定管理者:志津南学区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性
パソコン教室や歴史見て歩き講座の開催など、ユニークな、また、要望に応える事業を積極的に実施しており、多くの参加者を得ている。アンケートではサービスの質の評価が高いものの、30歳代の回答者が0人であり、利用者の一層の増加を求めらるうえで、子育て世代のニーズ把握に努められ、彼らを取り込む企画の実施を期待する。
②施設の管理・運営状況
稼働率等はかなり高く、地域のニーズに適合した施設と考えられる。収支も安定している。また、和室に絨毯を敷きテーブルを設置するなどの利便性向上や利用者増を図る工夫もみられる。アンケートの結果は良好である。

草津まちづくりセンター(指定管理者:草津学区ひと・まちいきいき協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性
様々な講座を開催し、内容充実に取り組んでおり、特に地域課題講座を多く実施している。アンケートの回答者数が少ないことから、アンケートの実施時期や期間等を検討し、今後もさらに様々な世代の利用ニーズに応える新たな事業を期待する。
②施設の管理・運営状況
利用状況、稼働率は、年間を通して良好であり高い利用状況である。収支も安定している。チラシの配布など、宣伝活動を積極的に実施している。

大路まちづくりセンター(指定管理者:大路区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性
概ね良好に管理されている。特に利用者アンケート結果を報告するなど、利用者の立場に立ち、利便性の向上に努力している。
②施設の管理・運営状況
利用者数、稼働率は適切であり高い利用状況である。収益も安定している。一方で、利

利用者からは自主教室の手続き書類等が多く複雑であるという声がある。様式は統一されたものであるが、年齢の高い方も利用しやすいように工夫されたい。

渋川まちづくりセンター(指定管理者:渋川学区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性

ホームページから部屋の空き状況の確認ができるようにするなど、利用しやすい工夫がある。館内掲示も工夫されており、地域の祭りのPRなど、地域との関わりを大切にしている。今後は60代、70代対象の事業だけでなく、若い世代を対象とした自主事業の企画も検討されたい。

②施設の管理・運営状況

利用者数は前年度と比較して、増加しており、全体としての稼働率も高いが、多目的ホール以外の低稼働率施設の利用促進について、例えば調理室の目的外利用はできないかどうか検討されたい。

矢倉まちづくりセンター(指定管理者:矢倉学区未来のまち協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性

講座情報周知にメール配信サービスを活用するなど、利用者の拡大に積極的に取り組んでいるが事業参加者数が少なく、対前年度利用者が微減となっていることから、各種事業の充実強化が必要である。アンケートからは職員の対応をはじめ、利用者の評価が良好であることがわかる。

②施設の管理・運営状況

利用者数は前年度と比較して、わずかに減少しているがほぼ変わらない。稼働率は前年度より高くなっており、努力が見られる。

老上まちづくりセンター(指定管理者:老上学区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性

アンケートを2回実施するなど、利用者のニーズ調査に積極的である。また、歴史講座や子育て講座など若い世代を取り込む企画を実施するなど、幅広い層をターゲットにした企画がなされている。一定のニーズがあるので、継続講座の開催を検討されたい。

②施設の管理・運営状況

利用者数、稼働率ともに高く事業収支も良好である。アンケートの声にもあるように座椅子等があることで、年齢の高い世代の利用者がより快適に使いやすくなるのではないかと。

老上西まちづくりセンター(指定管理者:老上西学区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性

各種研修に積極的に参加しながら自主事業に取り組んでいる。事業は幅広い年齢層をターゲットとしたものが実施されており、集客数(利用者)数が多く、センターを地域住民

に身近なものにしている。アンケートの回答者数が少ないことから、アンケートの実施方法を検討する必要がある。

②施設の管理・運営状況

事業収支は良好であり利用者数、稼働率とも前年度を上回っている。平成28年度に建設された施設であり、他のセンターと比較すると自主教室が少ないこともあり、稼働率が低いことから、さらなる向上を目指してほしい。

玉川まちづくりセンター(指定管理者:玉川学区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性

設備の修繕に積極的に取り組み、利用者満足度の向上に努めている。市の直當時の講座内容を踏襲されているようであるが、地域の特性や実情に応じた事業の実施を検討されたい。

②施設の管理・運営状況

事業収支は良好である。事務局職員が全て入れ替わったこともあり、新規事業を実施できなかった影響か、利用者数、稼働率は前年度より僅かに減少しているが、概ね良好である。収益も安定している。さらなる向上を目指してほしい。

南笠東まちづくりセンター(指定管理者:南笠東学区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性

いくつかの児童対象の事業が実施されている。実施にあたって小学校の協力を得るなどしている。事業ごとにアンケートを実施し、利用者の要望を取り上げる姿勢を持ち、努力している。アンケート結果も良好である。

②施設の管理・運営状況

利用者数、稼働率は、前年度と同程度であり安定している。事業収支も良好である。延床面積が他のセンターと比較して広いことから、稼働率の低い部屋の新たな利用の仕方を提案する等、一層の工夫をして利用者数、稼働率を高めたい。

山田まちづくりセンター(指定管理者:山田学区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性

概ね適切に管理されており、アンケート結果からも利用者は満足しているが、回答者の年代が70代(約72%)に偏っている。高齢者の利用が多い施設ではあるが、幅広いニーズが得られるように、アンケート実施の方法について検討されたい。

②施設の管理・運営状況

事業収支は良好である。利用者数、稼働率とも前年度を上回っているが、9月～2月にかけて利用者数が1,000人を切っている月もあるため、秋から冬にかけての事業等の計画も検討されたい。

笠縫まちづくりセンター(指定管理者:笠縫学区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性
多くの事業を実施、多数の参加者がいる。地域情報誌の発行を毎月実施し、学区全体の取り組みへの住民の関心を高めるなど、センターとしての意識の高さが伺える。アンケートの結果、概ね利用者は満足していることが伺えるが、回答者は、60歳と70歳で86%を占めているので、もう少し幅広い年齢層のニーズ把握にも努められたい。
②施設の管理・運営状況
対前年度利用者も多く、収益も安定している。指定管理者が自ら指摘している1年目の採用職員の実務研修について、実施方法等を検討されたい。

笠縫東まちづくりセンター(指定管理者:笠縫東学区まちづくり協議会)

①指定管理者による施設管理の有効性
事業は、地域住民の全体を対象としており、多くの住民がセンターを身近な存在と感じられるようにしている。アンケートは回答者数が多く、ニーズ調査として妥当である。全ての項目において結果は良好であるが、一部で講座・イベントの内容がわかりづらいという声がある。利用者の年齢層が幅広いので、どの年齢層の方が見られてもわかる掲示の工夫もされたい。
②施設の管理・運営状況
利用促進に繋がる事業に取り組み、成果を上げている。地元野菜等の出荷状況や部屋の利用状況をホームページにより情報提供し、センター利用の拡大に積極的に取り組んでいる。対前年度利用者も多く、収益も安定している。

各地域まちづくりセンター共通

③公募・非公募、利用料金制の採用の効果
まちづくり協議会を主体とした、地域のまちづくりの推進と活性化を目的とする施設であり、現在の管理方法以外は考えにくい。仮に公募を行っても応札する組織や企業は想定しがたく、また、これまでのまちづくり協議会の知見の蓄積を生かし、発展的に管理・運営等を実施できることから非公募による指定を継続する意義はある。 ただし、規模が大きく利用者数が多い施設については、公募制(施設の設置目的に反しないよう、条件を付けたうえで)を導入することも考えられる。料金については、地域住民を対象とした公的な役割が大きいので、市場原理に左右されにくい使用料金制がふさわしい。
④今後の施設管理の方向性
各地域に必要な施設として、維持されることが必要であると考え。もっとも施設の老朽化、駐車場の確保は共通する課題のようである。老朽化による改築の際には、より利用しやすい、時代に合わせた施設整備を図る必要がある。 指定管理者制度の導入については、利用者アンケートでもサービスの質について高い評価が得られており、適切であったと考える。地域住民の認知度については、調査はされて

いないものの、各部屋や交流サロンを地域の活動拠点や憩いの場として気軽に利用いただけるよう、ホームページや広報誌以外にも様々な媒体や機会を活用してPRを図られたい。今後、民間事業者のノウハウや創意工夫を取り入れるために、民間事業者を対象として実施される研修等に参加するなどして、民間の活力を引き込むことも検討されたい。